

申請先：一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「BPM」製品 PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号：  ★APPLICで記載

※赤字部分は、V2.7からV2.8の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2013  
・プラットフォーム通信標準仕様V2.3 ・アーキテクチャ標準仕様V2.2

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日)：

(b) 申請区分(新規、修正、破棄)：

(c) 申請者

団体名：  ★識別キー項目1  
 団体のURL：  (識別キー項目3つで  
 APPLIC会員番号：  ユニークになるように  
 申請者が指定する)

(d) 製品情報

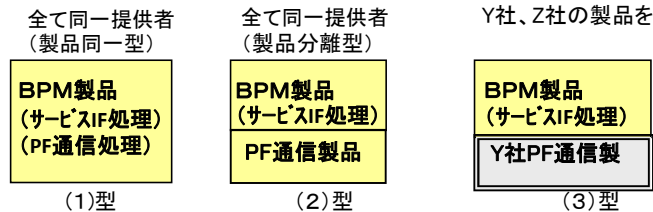
製品説明のURL：  ★識別キー項目2  
 代表製品名：   
 複数製品で構成する場合追記：  
 複数製品で構成する場合追記：  
 複数製品で構成する場合追記：

製品識別情報(バージョン等)：  ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日)：

対応OS：

製品の形態((1)型から(3)型)：



前提となるPF通信製品  
 前提PF通信製品名：  ※1  
 前提PF通信製品名：  ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※： 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること  
 ◎：対応、○：制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する) ↓

| 番号  | 準拠ルール<br>(番号( CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)                                       | 必須/<br>選択 | サイト内・外共通          |               |
|-----|---|-----------|-------------------|---------------|
|     |   |           | 製品・<br>システム<br>確認 | APPLIC<br>確認欄 |
| 1   | 「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす   | 必須        | ◎                 | ○             |
| 1-1 | HTTP通信(IPv4, HTTP1.1)を行えること (CS-R020001, CS-R020002)                                      | 必須        | ◎                 |               |
| 1-2 | SOAP通信(SOAP1.1, document/literal, WS-Iベージックアップファイル1.0)を行えること (CS-R020003, CS-R020004)     | 必須        | ◎                 |               |
| 1-3 | 標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)   | 必須        | ◎                 |               |
| 1-4 | 標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)  | 必須        | ◎                 |               |
| 1-5 | 標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンに対応できること (CS-R060001～CS-R060005, CS-R060006, CS-R060007, CS-R060009) | 必須        | ◎                 |               |

【付録2.2】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「サービス基盤」

|                |   |    |   |   |
|----------------|---|----|---|---|
| 2              | プラットフォーム通信標準仕様第4章「プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」における機能要件満たす。  | 必須 | ◎ | ○ |
| 2-1            | BPM機能は、WS-BPELに準拠した以下の機能要件を満たすこと<br>・WS-BPEL V2.0に準拠していること (CS-R040001)<br>・サービス呼出し/Fに関するreceive、reply、invoke (CS-R040003)<br>・実行制御に関するsequence、flow、if、while (CS-R040004)<br>(ただし、V1.0の場合は、linkがあるflowは対応できなくてもよい)<br>・throw (CS-R040005)<br>・変数処理に関するassign (CS-R040006)<br>・fault Handler (CS-R040007)<br>・コリレーションセット (CS-R040008)<br>・XMLの部分データを変数に割り当てるためのXpath 1.0 (CS-R040010) | 必須 | ◎ |   |
| 備考欄(前提事項や制限事項) |   |    |   |   |
|                |   |    |   |   |